

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山口県

| | |
|---------|-----------------------------|
| 行事名称 | 阿弥陀寺文化財防火訓練 |
| 実施期間・日時 | 令和2年1月19日(日)午前10時 |
| 実施場所 | 東大寺別院 阿弥陀寺(山口県防府市牟礼上坂本1469) |
| 主催者 | 阿弥陀寺、防府市消防署、防府市消防団、防府市教育委員会 |

■実施内容

訓練の想定

阿弥陀寺の石風呂より出火し、山林に延焼。出火に気付いた坂本自治会がバケツリレー、阿弥陀寺自衛消防隊が自動放水銃及び消化栓ホースにて消火活動を行う。また、参拝者の一人が負傷し、救急車で搬送される。

訓練の内容

阿弥陀寺住職、自衛消防隊、坂本自治会による火災発見、通報、消火活動(バケツリレー、自動放水銃、消火栓ホース)、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水及び救助訓練を実施。

参加者及び役割分担

防府市消防署(23人): 全体統括、放水訓練、救助訓練、講評、安全管理

防府市消防団(5人): 放水訓練

阿弥陀寺自衛消防隊(20人): 消火訓練

坂本自治会(20人): 消火訓練

防府市教育委員会(3人): 参拝役、負傷者役

特に工夫した点

昨年、自動放水銃の設置が完了した仁王門付近を中心に、訓練を実施。実際に自動放水銃を使用することにより、使用手順を確認することが出来た。

問題点・課題

今回は仁王門付近を中心に防災訓練を行ったため、他の場所にある宝物庫等に多く収められてある重要文化財の搬出訓練をすることはできなかった。

また、訓練当日は小雨が降り、石段が滑りやすくなっていたため、参加者の安全管理も重要。

その他

阿弥陀寺の防災訓練は独自で毎年行っているため、住職、自衛消防隊、自治会共に連携がよく取れていた。今回は事前の告知もあり、一般の見学者が多数見られ、文化財の防災意識に対する関心の高さを感じた。

訓練風景

